

地域包括ケアシステムの中での これからの訪問看護の役割を考える

～仲間を増やし、最期まで豊かな暮らしを支える～

今回の研修会は、聖路加国際大学の山田雅子先生を講師にお迎えすることができました。地域包括ケアシステムはうまく進んでいるの？と疑問に感じていませんか？現状として、医療・介護の人材不足・連携不足、地域格差、認知不足があるといわれています。もっと進めていくために訪問看護師としてどのように動いていけばいいのか、仲間をもっと増やし、地域で最期まで暮らすことを支えていきたいという熱い思いで企画しました。山田先生の講義は、アーカイブでも配信（参加申込者のみ）も予定しています。ぜひ一緒にお話を伺い、考え、実践していきましょう！

講師：聖路加国際大学 山田雅子先生

2024年

1/27(土)

10時～15時

ハイブリッド形式

【会場】 ナースプラザ福岡

【対象】 訪問看護認定看護師、
在宅ケア認定看護師、訪問看護師
訪問看護に携わる専門職

【定員】 50名

【参加費】 協議会会員無料 ・ 非会員 2000円

(振り込みについては申し込み後メールにてお知らせします)

第1部 10時～12時 講義 山田雅子先生

第2部 13時～15時

I. 実践報告

①訪問看護認定看護師としての役割の大切
さに気づくまで

医療法人ひらまつ病院 訪問看護ステーション管理者 堀口奈緒子

②訪問看護に新卒者を採用しての経過報告

訪問看護ステーション青空 所長 下地節子

参加方法:1月15日までに、QRコードよりお申し込みください
(zoomID・パスコードは研修会3日前までにメールでお送りします)

